

「阪高湾岸線 建設推進を」

公共事業説明会に250人



会場では阪神高速湾岸線西伸部をはじめ公共事業の説明が行われた＝神戸市中央区港島中町6、神戸商工会議所

大阪湾岸道路（阪神高速湾岸線）西伸部など兵庫県内に関連する公共事業の説明会が8日、神戸市中央区港島中町6の神戸商工会議

所であり、企業関係者ら約250人が参加した。説明会で末松信介国土交通副大臣は「首都圏に比べ関西のインフラは見劣りす

る。湾岸道が象徴的だ」と推進姿勢を強調。神商議は県などと早期完成を要望しており、家次恒会頭は「物流の改善は関西全体の活性化につながる。医療、ロボットなどの産業集積も進む」と期待を述べた。

国交省は、西伸部のうち六甲アイランド北（神戸市東灘区）―駒栄（同市長田区）の14・5キロを2016年度に事業化した。総事業費は5千億円。計画では阪神高速神戸線の渋滞緩和を目的に神戸港の航路を妨げない高架にする。県と神戸市も17年度事業の概要を説明した。（内田尚典）

神戸新聞

2017年5月9日